



発行:市川市
編集:企画部広報広聴担当
〒272-8501
市川市八幡1-1-1
☎047-334-1111
☎047-336-2300
ホームページ
http://www.city.ichikawa.lg.jp/

7月18日
2009年(平成21年)
毎月第1~第4土曜日発行
No.1339

市政の動き

7/21(火)
【傍聴】農業委員会
【パブリックコメント】
8/9(日)まで募集
一般廃棄物処理
基本計画(案)について
8/16(日)まで募集
市民マナー条例
改正(案)について

今週号の紙面から

- 特集①
地上デジタル放送
説明会を開催
..... 4面
- 特集②
“市民の昆虫”
スズムシを育てよう
..... 5面
- 行徳鳥獣保護区で
自然の大切さを学ぼう
..... 2面(環境・学習)
- 小学校と公園のプールを
無料開放..... 3面(健康)
- 健康都市推進講座開講
..... 6面(健康・講座)
- 運動不足を解消しよう
体験&健康スポーツ教室
..... 6面(健康・講座)
- 文学プラザ企画展
「詩(うた) 平和への響き」
..... 8面(文化・催し)



2000年の千年紀を契機に始まった「市川手児奈文学賞」。今年は、記念すべき10回目を迎えます。今回も「市川を詠む」をテーマに、全国から短歌、俳句、川柳を募集します。皆さんも、毎日の暮らしのなかから「市川」を詠んでみませんか。

開催中
関連イベント
「市川手児奈文学賞
10周年記念作品展」

9月30日(水)まで、第1回から第9回までの入賞作品のなかから数点を、文学プラザに展示(2度の展示替えを予定)します。作品作りの参考にはいかがでしょうか。

子どもの部 7月31日(金)まで
第9回までの入選作品のなかから優秀作品をメディアパーク市川1階エントランスに展示。*7月24日(金)に展示替え

小学校で出前授業

「市川手児奈文学賞」に向け、毎年6月から9月にかけて小学校へ講師を派遣し、短歌、俳句、川柳の出前授業を行っています。作品の作り方や鑑賞についての説明の他、児童の作品の講評もしています。



▲出前授業の様子(富貴島小学校6年生)



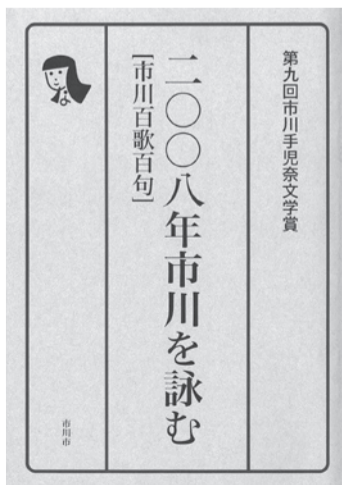
子どもたちの作品

第9回市川手児奈文学賞
2008年市川を詠む
【市川百歌百句】

第9回市川手児奈文学賞の入選作品を一冊(A5/182ページ)にまとめました。また、特別付録には、大賞作品選と、市川てくてく文学マップ(真間~国府台、八幡~菅野、中山~柏井、行徳)を掲載しています。

●販売場所 文化振興担当、文学プラザ ※郵送可(要問い合わせ)。

●価格 500円



●今回も、部門ごとに入賞・入選作品を合わせて100点を選定し、作品集にまとめて発表します。入選者には、2009年版の作品集を贈呈します。

今年はいよいよ10周年

「市川手児奈文学賞」
作品を大募集!
テーマ
2009年市川を詠む

市川手児奈文学賞とは

身近な文芸作品の発表の場を得ることで市川の文芸風土への関心を深め、更には、芸術文化の香り高い魅力ある街として再発見することを目的に、平成12年に創設。万葉集によって今に伝えられ、市川の文学の原点ともいえる真間の“手児奈”の伝説にちなんで、「市川手児奈文学賞」と命名しました。短歌、俳句、川柳の3部門からなり、市川への思いやメッセージを広く全国から募集しています。

募集内容

市川の自然、文化、祭り、史跡や建物、市川ゆかりの人物などを題材にした短歌、俳句、川柳の未発表作品(1部門につき1人5点まで)
※応募要項を、市内の図書館、公民館、文化施設で配布。

応募方法

はがきかはがき大の用紙に作品1点(漢字すべてにフリガナ)と応募部門、氏名(フリガナ)・年齢・住所・電話番号、学生の場合は学校名と学年を楷書で書き、9月30日(水)まで(消印有効)に文化振興担当「市川手児奈文学賞係」へ郵送するか、文学プラザ、芳澤ガーデンギャラリー、木内ギャラリー、行徳文化ホールI&Iに設置した応募箱へ。

問い合わせ

☎334-1107
文化振興担当「市川手児奈文学賞係」

選者

短歌...清水麻利子(花實同人)
俳句...淵上千津(沖同人)
川柳...岡本公夫(川柳新潮社同人)

賞

一般の部(3部門共通)
大賞(各部門1点)
.....賞状と賞金50,000円
秀逸(各部門2点)
.....賞状と賞金10,000円
佳作(各部門3点)
.....賞状と賞金5,000円
子どもの部(3部門共通)
.....入選者に作品集を贈呈

発表

12月(予定)に入賞・入選者へ文書で通知 ※著作権は本人に帰属。ただし、市川市がその作品を使用する場合、入選者は使用を承諾したものとします。